

大会名 Competition	第27回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-108	Year Month Day Time 2014 年 5 月 4 日 13 : 40
場所 Place	能代市総合体育館



チームA <b>市立船橋</b> 68 ●	<table border="1"> <tr><td>16 1st</td><td>23</td></tr> <tr><td>17 2nd</td><td>25</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>25</td></tr> <tr><td>17 4th</td><td>17</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	16 1st	23	17 2nd	25	18 3rd	25	17 4th	17	OT		チームB <b>明成</b> 90 ○
16 1st	23											
17 2nd	25											
18 3rd	25											
17 4th	17											
OT												

主審:Referee 加藤 昌樹 愛知  
副審:Umpire 加川 真 宮城  
堀内 昌浩 宮城  
テーブルオフィシャル:Table officials 能代松陽男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	戸田 貴太	CAP	21	0	10	1	2	4	×	増子 優騎		0	0	0	0	1
5	/	川島 翔吾		6	0	3	0	2	5		高橋 麟太郎		-	-	-	-	0
6	×	平良 彰吾		17	1	7	0	4	6	×	納見 悠仁		12	0	5	2	0
7	×	青木 太一		14	1	5	1	2	7	/	富樫 洋介		8	2	1	0	0
8	×	杉田 涼		5	0	2	1	4	8	/	井上 駿		3	0	1	1	2
9	×	岡野 直樹		2	0	1	0	1	9	×	足立 翔		6	0	3	0	3
10	/	川上海 斗		0	0	0	0	1	10	×	三上 侑希		20	6	1	0	3
11	/	渡辺 和人		-	-	-	-	0	11	/	江戸保 賢人		0	0	0	0	0
12	/	畠山 大介		0	0	0	0	0	12	/	江戸保 礼央		0	0	0	0	0
13		棟方 啓介		-	-	-	-	0	13	/	伊藤 修人		4	1	0	1	0
14	/	白井 虎太郎		0	0	0	0	0	14	×	八村 塁	CAP	36	0	17	2	1
15	/	邱文 昊		0	0	0	0	0	15	/	高柳 紗万		1	0	0	1	0
16		金子 翼		-	-	-	-	0	16		庄司 勇人		-	-	-	-	0
17	/	菅野 竜介		3	1	0	0	1	17	/	柳瀬 亮		0	0	0	0	1
18		増田 修大		-	-	-	-	0	18		清水 翔太		-	-	-	-	0
コーチ		近藤 義行							コーチ		佐藤 久夫						
Aコーチ		杉下 卓							Aコーチ		高橋 陽介						
合計				68	3	28	3	17	合計				90	9	28	7	11

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q, 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。明成は#10三上のジャンプシュートで先制。立ち上がりの堅さからか両チームに小さなミスが目立つが、明成は#6納見や#14八村で加点する。対する市立船橋は、#4戸田、#6平良を中心に入れ返す。1Qは、16-23と明成が7点リードで終わる。

2Q, 立ち上がり、市立船橋#4戸田が連続でゴールし20-23とつめ寄せが、明成は#10三上が3Pを決め、更に#14八村の1対1からゴールを決めつき離す。残り4:39, 24-36と12点差になったところで市立船橋は2回目のタイムアウトを請求する。市立船橋はメンバーを5人全員入れ替え、フルコートプレスで反撃を試みるも明成は冷静にボールを運ぶ。2Qは明成#10三上が3本の3Pを沈め33-48で点差を広げた。

3Q, 市立船橋は#7青木が1人で持ち込み、連続でシュートを決める。#6平良も加点し巻き返しを図るが、明成は#14八村の1対1に加え、#10三上と#7富樫の3Pで内外角から攻撃すると点差はじわじわと離れていく。残り5:15, 43-61で市立船橋はタイムアウトを取るも流れを変えることはできず、51-73と明成が22点差をつけ終了する。

4Q, 市立船橋に攻撃のリズムが戻り、#5川島がゴール下で得点に絡み始めると試合は得点を取り合う展開になる。明成は、#7富樫がジャンプシュートや3Pを決め、さらには205cmの#15高柳を投入するなど、メンバーを替えながらゲーム運び、最終スコア68-90と明成が快勝した。